

船橋市最古の貝塚

とり かけ にし かい づか 取 掛 西 貝 塚

取掛西貝塚は船橋市飯山満町一丁目・米ヶ崎町にある縄文時代早期前半（約1万年前）及び前期（約6千年前）の遺跡です。これまでに5回の発掘調査および畑部分の分布調査をおこないました。

平成20年の取掛西貝塚（5）調査地点の発掘調査では、船橋市内最古の貝塚が発見されました。これは東京湾東岸部の中でも最古と評価される貝塚であり、全国的にも注目されています。

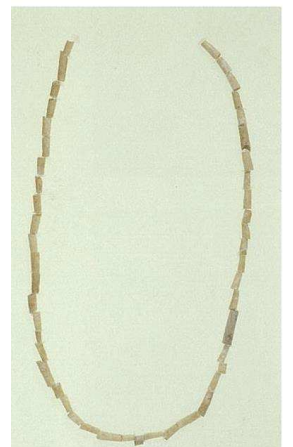
○東京湾東岸部、最古の貝塚をともなう集落跡

縄文時代早期前半（約1万年前）の貝塚・^{たてあなじゅうきょあと}竪穴住居跡10軒などが発見されました。

○約1万年前の土器類および2,000点をこえる大量のツノガイ類製ビーズ状の^{たれかざり}垂飾などが出土

○ヤマトシジミ主体の貝塚を発見

ヤマトシジミは河口や^{かた}潟などの^{きすいいき}汽水域（海の水と川の水がまじりあうところ）に生息する貝です。ヤマトシジミ主体の貝塚は船橋市周辺ではたいへん珍しいです。貝塚は約1万年前のもので、近い時期の貝塚は、千葉県内では利根川沿いの香取市^{ときざき}鴨崎貝塚・神崎町^{にし}西之城^{のじょう}貝塚でのみ発見されています。



ツノガイ製のビーズ

○全国で最古の^{どうぶつぎらいあと}動物儀礼跡を発見

竪穴住居跡につもった^{かいそう}貝層の下から、イノシシの^{すがいこつ}頭蓋骨7個とシカの^{じょうがくこつ}上顎骨（頭）3個体分が並べられた状態で出土しました。これは約1万年前の動物儀礼の跡と考えられます。このような儀礼の跡は、全国では北海道東釧路貝塚など4遺跡しか見つかっておらず、船橋市の事例は全国で最古のもので、

※取掛西貝塚では縄文早期（約1万年前）のムラのほかに、縄文前期（約6千年前）のムラも見つかり、関東最大級の縄文早期・前期集落跡といわれています。船橋に住んだ太古の人々の暮らしや文化などがわかる貴重な遺跡です。



ヤマトシジミ主体の貝層と出土した動物の骨



イノシシ・シカの骨が出土した動物儀礼の跡